

し ら た か

広報

平成24年度施政方針と当初予算②
平成24年度町職員人事⑧
役場各課・係業務のごあんない⑩
介護保険料が変わります⑫
白鷹町住宅需要拡大促進事業⑬

4.12
ARP 2012
NO 1086



友達いっぱいできるかな — ひがしね保育園入園式（4月5日） —

辺りには雪が積もり、4月にしては少し寒い4月5日、ひがしね保育園で入園式がおこなわれました。子ども達は元気に入場し、大きな返事が園内に響きわたりました。見守るお父さん、お母さんの温かい眼差しが春の柔らかな日差しのようにでした。写真は、ばなな組の新入園のお友達です。

平成24年度施政方針と

当初予算

平成24年度は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、かつてない急激な円高など現下の経済情勢等を踏まえ、「共創のまちづくり」の理念の下、引き続き「人づくり」を中心に、重点分野を「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」3分野として、特に人と人との「絆」、地域の「連携」、資源の「循環」などの「つながり」を視点に施策を展開し、第5次白鷹町総合計画の実現に向けた歩みを着実に進め、「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」を目指してまいります。

主な事業といたしましては、子育て支援拠点施設整備事業や、中学校統合に向けた準備をはじめとして、小児インフルエンザワクチン接種事業の創設、産業センターを拠点とした農工商観の連携、6次産業化支援事業など、子育て支援や教育の充実、産業の振興に結びつく施策への積極的な展開を図っていくほか、住民の方々が主体的に取り組む地域づくりの支援や健康増進計画の策定、東陽の里ブランド改修事業など、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりにも力を注いでまいります。さらに、エネルギープロジェクト事業の創設や公共施設の耐震診断、庁舎等の行政機能強化を目的とした施設再配置計画策定など、震災以降の新たな課題に対応するための施策を行ってまいります。今年度は、第5次白鷹町総合計画における前期基本計画の中間年度として、今後につなぐ重要な時期にもなることから、改めて、町民の皆さまと共に創りあげる「共創のまちづくり」の理念に立ち、安心安全なくらしを第一として、生活福祉の向上、さらには次代につなぐまちづくりとしての諸施策の実現に向け、全力を傾注してまいりますので、町民の皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。

白鷹町長 佐藤 誠七

施策の概要

1. 子育て・教育

◆子育ての充実

○子どものための手当支給事業やニコニコマタニティライフ応援事業、特定不妊治療費助成事業、乳児から中学生までを対象に医療費の自己負担額を助成する、しらか元気っ子事業を継続します。

○新たに「小児インフルエンザワクチン接種事業」を創設し、引き続き子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。

○こぐわ・あゆかい保育園を統合する新たな保育園と子育て支援センター、放課後児童クラブを整備する「子育て支援拠点施設整備事業」に取り組み、平成25年4月の開所を目指します。

◆学校教育の充実

○学校生活支援員を配置し、集団生活の不適応児童生徒や特別支援教育が必要な児童生徒への対応など、きめこまやかな教育の充実を図ります。

○蚕桑小学校の暖房設備整備事業をはじめとする施設整備、残る小学校校舎の耐震診断の実施や各校に防犯カメラを設置するなど、安心・安全な学校環境づくりに努めます。

○統合中学校については、平成27年度開校に向け、中学校統合準備委員会において教育効果を高めるための環境整備や学校生活に関する事項を検討し、準備を進めます。

○学校給食は、食育の一環としても重要な役割を担っており、引き続き安全で安心な学校給食を提供します。

○荒砥高校については、平成25年度からのキャンパス制導入と総合学科改編に向けた活動支援を行います。さらに、魅力ある学校づくりの一環として、福祉関係の資格取得支援のための養成講座を開催します。

2. 雇用・産業

◆農業の振興

○中山間地域等直接支払推進事業、農地・水・農村環境保全向上対策事業も継続して取り組み、農地の維持保全を図ります。

○地域農業活性化センターを主体に、地域特性を活かした農業の振興と活性化を図るため、白鷹町水田農業推進協議会を「白鷹町農業再生協議会」に改め、この組織を核として「人・農地プラン」に基づく施策の推進と、遊休農地の解消、耕畜連携の推進、作業受託組合の活動支援を継続し、農業が魅力ある産業として発展できるよう取り組みます。

○土地改良については、県営土地改良事業の継続事業により、浅立地区・萩野地区の基盤整備事業や老朽ため池の整備の推進を図ります。

○林業については、「やまがた緑環境税」による里山林の再生整備や松くい虫防除事業、ナラ枯れ防除事業を関係機関と調整を図りながら進めます。

◆工業の振興

○円高やデフレ等の影響により、依然厳しい状況にあることから、引き続き受注拡大を支援するとともに、各種利子補給事業、現場力や技術力の向上をめざす中小企業技術者養成事業などを継続します。

○地域産業の活性化と雇用の場の創出を目指し、企業誘致活動を実施します。

○新規学卒者の就職支援を行う人材確保対策事業、雇用奨励金を交付する雇用創出促進事業を継続し、雇用枠の確保・拡大と失業者の減少に向けた取り組みを行います。

◆商業の振興

○町内消費を拡大し、商業の活性化を促進するため、商工会が実施する商業活性化事業や住宅需要拡大推進事業を引き続き支援します。

○空き店舗利用促進対策事業も継続して実施します。

◆観光・交流の振興

○観光交流では、6年目を迎えた、桜から紅花までの「やまがた花回廊キャンペーン」を中心に、「つばさ開業20周年キャンペーン」や「東北観光博」との連携を図るとともに、白鷹・朝日・大江の3町連携による広域観光の推進に取り組みます。

○白鷹の四季を活かした観光4シーズン化に磨きをかけ、一年を通じての着地・滞在型観光等を進めます。

○鑑賞用紅花畑等の整備を支援します。

○教育旅行による都市部の子どもたちの受け入れや深山和紙人形制作指導者の育成を継続するなど「見て・触れて・感じて」楽しめる交流を広げます。

○海外（中国を中心としたアジア）からの誘客推進を図るためのモデル事業に取り組みます。

◆産業連携

○農産物をはじめとする「白鷹ならではの」素材を活用し、農工商観連携による6次産業化を推進するため、産業コーディネーターを中心としてさまざまな取り組みを進め、事業化に向けた初期的な取り組みについて支援します。

○町内産業を町内外へ発信し活性化を図るための場づくりとして「白鷹町産業フェア」を引き続き開催し、産業界の連携強化を図るとともに、「白鷹」をアピールできる商品づくりに取り組みます。

◆定住の促進

○町道は、赤坂深山線の工事の推進を図り、引き続き浅立沼田岩崎線の改良整備と田尻笠松線の歩車道整備を実施します。

○新規事業として谷町八ヶ森線の歩道設置工事の事業採択に向けて調査測量を行います。

○町道の維持補修は、荒砥浅立線など老朽化した舗装の補修や側溝整備等を行い、交通の安全確保に努めます。

○住宅施策として、引き続き木造住宅の耐震化などのリフォームに対し支援を行うとともに、鮎貝土地区画整理事業地内における定住促進を図るため「すまいる！四季の郷」定住促進プロジェクトにより支援をします。

○除排雪体制については、昨年度導入したシステムの充実を図りながら、より効率的・効果的に行います。

○上水道事業では、安全でかつ安価な水を安定的に供給するため、配水管整備事業、機械装置の購入並びに更新を計画的に行い、公営企業の健全経営に努めます。

◆地域公共交通の確保

○デマンド型乗合タクシーと住民混乗型のスクールバスを地域交通の重要な足として、引き続き運行します。

○フラワー長井線利用拡大の取り組みや経営改善計画の推進に向けた支援を継続します。

主な事業の概要

●総務費 (町民一人当たり) 5万7204円
前年度比+6・7%

デマンド型交通運行事業 1399万円
フラワー長井線対策費 1287万円
集落対策事業 59万円
白鷹入育成事業 514万円
荒砥高等学校活性化・新入生応援事業 550万円
エネルギープロジェクト事業 347万円
庁舎等施設再配置計画策定事業 204万円
共同アウトソーシング事業 6841万円
山形県知事選挙費 1246万円
白鷹町長選挙費 1011万円

●民生費 (町民一人当たり) 25億6180万円
前年度比+25・7%

国民健康保険特別会計繰出金 8553万円
障害者自立支援給付事業 2億3254万円
後期高齢者医療費 2億2115万円
介護保険特別会計繰出金 2億3867万円
福祉医療費 7638万円
しらかが元氣っ子事業 1786万円
保育園費 3億 93万円
放課後児童健全育成事業 1086万円
子育て支援拠点施設整備事業 6億9622万円

●衛生費 (町民一人当たり) 5億2145万円
前年度比+0・6%

健康増進計画策定事業 65万円
人間ドック・各種検診・後期高齢者健診事業 3338万円
二ノココマタニティライフ応援事業 3360万円
子宮頸がんワクチン等接種事業 1284万円
小児インフルエンザワクチン接種事業 245万円
清掃事業所分担金 9471万円
病院事業会計繰出金 2億円
水道事業会計繰出金 1465万円

◆環境の保全

○省エネルギー対策をはじめ、ごみのリサイクル・減量化に向けた啓発や実践活動を引き続き推進します。

○小・中学校や地区公民館等との連携を図り、環境学習や環境出前講座を通して住民一人ひとりに働きかけを行うとともに、エコドライブ講習会を開催し、地球環境問題を身近に考えていただく機会を提供します。

○下水道事業では、施設の長寿命化を図るため改築更新の実施計画を策定します。また、水洗化率は84%を超えましたが、公共用水域の水質改善という目標に向かい、さらに加入促進を図ります。

○合併浄化槽整備については、町設置管理型を継続し、集合処理に適さない地区の生活排水処理事業により積極的に推進します。

3. 地域

◆地域コミュニティの構築

○地域づくりの拠点である地区公民館の体制については、住民主体の公民館運営のもと自主的な生涯学習活動の支援を行うとともに、それぞれの地域の特徴や課題を整理しながら、主体的で計画的な地域づくりの推進に向けて、コミュニティセンター化の検討を行います。

○集落機能の維持対策として集落支援員の配置を継続し、地域力の向上を図るためまちづくり助成事業などに取り組みます。

◆地域の安全安心の確保

○東日本大震災の経験を踏まえ、町の防災計画の見直しを行い、その計画に基づき、全町に組織化された自主防災組織との連携など、防災力の向上に努め危機管理体制の確立を図ります。

○消防関係については、消防活動が迅速かつ、的確に実施できるように消防施設の整備を行い、機動力の強化・充実に努めます。

○交通安全活動については、白鷹町交通安全対策協議会の活動と連携し、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通安全教室の開催、回転灯やカーブミラーの設置など交通安全施設の整備を行ない、事故防止に向けた事業を展開します。

○防犯活動については、「地域の安全は地域が守る」という自主的な取り組みを支援し、白鷹町防犯協会による防犯パトロールを活動の軸としながら、通学路の点検や防犯灯の設置など安全で安心なまちづくりを進めます。

◆保健・福祉・医療の充実

○高齢者のかたが健康で活動的な生活を送ることができるよう、今年度からは第6次高齢者保健福祉計画、第5期介護保険事業計画に基づき、健康づくり事業や介護予防事業を継続して取り組みます。また、相談体制の充実や権利擁護等を推進しながら、介護保険事業及び地域包括支援センターの円滑な運営を行います。

○中山地区に開設された小規模特別養護老人ホームとショートステイの施設利用により、入所待機者の減少を図るとともに在宅福祉サービスの充実を図ります。

○障がい者福祉については、平成25年度中に予定されている法改正を見据えながら体制の充実を図るとともに、自立支援協議会の設置や県から移管された児童に対するサービスのうち通所系サービスについての対応を図ります。

○昨年度から取り組んでいる「在宅酸素療法者支援事業」については、町独自に対象者の拡大を図ります。

○健康づくり事業では、町民の健康づくりの方向性を示す健康増進計画の見直しを行い、その実施を着実に推進します。

○本町医療の拠点となる町立病院については、「地域住民から信頼される病院」を基本理念として、外来・入院・救急診療・訪問診療・在宅支援などを継続します。

○病院経営は全国的に厳しい状況にありますが、今後とも医師の確保に努め、老朽化した医療機器を更新するなど医療サービスの向上を図り、病院運営の効率化、経営の健全化に努めます。

●農林水産業費 4億4565万円

(町民一人当たり 2万8813円 前年度比+25・8%)

新規就農者支援事業 108万円
放射能自主検査事業 50万円
創意工夫プロジェクト支援事業 1027万円
農業集落排水特別会計繰出金 7937万円
水頭地区ため池整備事業 272万円
農村災害対策整備事業(鮎貝排水機場改修整備) 1600万円
萩野地区農地環境整備事業 3773万円
農業用河川工作物応急対策事業(諏訪堰頭首工整備) 4145万円
浅立地区経営体育成基盤整備事業 1600万円
地域特産物推進事業 250万円
地域農業活性化センター推進事業 110万円
森林環境保全整備事業(白鷹東部線) 755万円

●商工費 2億2128万円

(町民一人当たり 1万4307円 前年度比▲3・0%)

観光4シーズン化推進事業 590万円
紅花の里づくり推進事業 200万円
商業活性化促進事業 300万円
住宅需要拡大促進事業 2000万円
農工商連携推進事業 541万円
6次産業化支援事業 201万円
白鷹サテライトオフィス設置事業 424万円
中小企業緊急金融対策事業 750万円
雇用創出促進事業 1200万円

●土木費 8億8152万円

(町民一人当たり 5万6994円 前年度比+0・9%)

除雪事業 1億1360万円
道路橋梁新設改良事業 2億6232万円
「すまいる!四季の郷」定住促進プロジェクト 270万円
下水道特別会計繰出金 3億6735万円
住宅耐震化等促進事業 1467万円

4. 人づくり

○人材育成の中で、特に重要なウエイトを占める教育行政の推進にあたっては、本町の歴史と伝統文化や地域資源を活かし、学校教育の充実をはじめ、青少年の健全育成、生涯学習の振興、生涯スポーツ・地域芸術文化の活性化やさらには、荒砥高校の支援等に努めます。

◆生涯学習の推進

○生涯学習は、新たな白鷹町生涯学習振興計画に基づき実施します。

○子どもたちの社会力育成や地域の教育力の向上を目指す「放課後子ども教室」や「学校支援地域本部事業」をはじめ、幅広い視野をもつきっかけづくりとしての小中学生交流事業、成績優秀者奨励金交付事業などに引き続き取り組みます。

○生涯学習活動の拠点となる地区公民館については、安全で安心して利用いただける施設を目指し、耐震診断を進め、全体の拠点施設としての中央公民館及び図書館は、機能の課題解決に向けて引き続き検討します。

○文化財の保護、伝承活動については、地域・保存会と連携し計画的に推進するとともに、町誕生後の約60年間の歩みについて「白鷹町史・現代編」として、平成26年刊行を目標に町史編さん作業を進めます。

○芸術文化については、町芸術文化協会との連携による芸術祭の開催や、少年少女合唱団をはじめとする各種団体の育成支援を継続します。

○図書館については、引き続き長時間開館の取り組みを行うなど、サービスの向上に努めます。

○生涯スポーツにおいては、総合型地域スポーツクラブの本格稼働に向けた体制整備の支援を行うとともに、各種スポーツ団体の支援やスポーツ推進委員等の指導者の育成などを支援します。

○若鮎マラソン大会等の各種スポーツ大会を開催するとともに、町民誰もが気軽にスポーツに親しむことができるよう、健康・体力づくりにつながる機会や情報の提供などに努めます。

○東陽の里グラウンドの人工芝生化等の整備を行い、利用環境

の向上を図るほか、スキー場や野球場・ソフトボール場などの体育施設の適正な維持管理を行い、町民の健康増進、スポーツ振興の環境づくりに努めます。

5. 行財政改革の推進

行財政改革については、第4次白鷹町行財政改革大綱を基本に推進しておりますが、計画期間の中間年にあたることからこれまでの成果と課題を検証し進捗管理に努めます。

特に、統合保育園、学校給食共同調理場の民営化、民間委託の推進をはじめ、関係団体との連携を進め、雇用創出、地域経済活性化による新しい公共の構築を目指します。

また、電算システムの共同アウトソーシングにより、効率的な行政運営を図り、職員研修の充実と計画的な定員管理により、庁内組織の体制強化、行政サービスの継続性確保のための人づくり、組織づくりを進めます。

予算編成の基本方針

平成24年度予算は、引き続き行財政改革を推進し、持続可能で健全な財政運営の確保に努めながら、まちづくりの将来像である「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」の実現に向けて重点プロジェクトを中心に施策の充実に努めていく観点から編成しました。

この結果、平成24年度の一般会計当初予算額は、78億3700万円となり、前年度に対し6億6200万円、9・2%の増加となったものです。

主な内容は、子育て支援拠点施設整備事業や、中学校統合に向けた準備をはじめとして、小児インフルエンザワクチン接種事業の創設、産業センターを拠点とした農工商観の連携、6次産業化支援事業など、子育て支援や教育の充実、産業の振興に結びつく施策への積極的な対応を図ったほか、健康増進計画の策定、東陽の里グラウンド改修事業など、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりにも力を注いでいきます。また、エネルギープロジェクト事業の創設や公共施設の耐震診断、庁舎等の行政機能強化を目的とした施設再配置計画策定など、震災以降の新たな課題に対応するための施策を実施します。

●**消防費**
(町民一人当たり) **3億4838万円**
2万2524円
前年度比+3・5%

西置賜行行政組合負担金 2億6841万円
防火水槽新設事業 1650万円
消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ導入事業 1527万円

●**教育費**
(町民一人当たり) **8億1082万円**
5万2422円
前年度比+28・5%

学校生活支援員設置事業 1414万円
スクールバス運行管理等費 3518万円
小学校耐震診断事業 920万円
蚕桑小学校暖房設備整備事業 2380万円
学校支援地域本部事業 121万円
小中学生交流事業 38万円
白鷹町史編さん事業 795万円
地区公民館耐震診断事業 599万円
総合型スポーツクラブ支援事業 627万円
東陽の里グラウンド改修事業 1億5917万円

●**公債費**
(町民一人当たり) **10億804万円**
6万5173円
前年度比+15・9%

●**その他**
(町民一人当たり) **1億5329万円**
9911円
前年度比+15・9%

議会費 371万円
労働費 2702万円
災害復旧費 2086万円
諸支出金 70万円
予備費 100万円

【歳入予算】

町税は、固定資産税が評価替による減少があるものの、町民税が扶養控除の見直しによる個人分の増額、企業収益の回復を想定した法人分の増額等から、全体としては3074万円、2・8%の増。地方交付税は、普通交付税で、算出基礎となる基準財政需要額における公債費に係る算入額の大幅な減少が見込まれることから、1億3900万円、4・0%の減。町債は、大規模な投資的事業に対応するため、6億2200万円、108・4%の大幅増となりました。

【歳出予算】

義務的経費は人件費が0・9%の増、扶助費は障害者自立支援給付費やしらか元気づき子事業等の医療費支援及び保育委託料の増加があるものの、子ども手当制度の改正による支給額の減少が影響し3・1%の減、公債費は1億9070万円、15・9%の減となり、義務的経費全体では2億683万円、6・3%の減となりました。そのほか、普通建設事業費は補助事業で子育て支援拠点施設整備事業や赤坂深山線道路改良事業などにより、3億6383万円の増、単独事業は農業関連施設の県事業負担金などが大きく影響し、4億373万円の増となり、全体では7億6756万円、119・8%の大幅増。補助費等では、6次産業化支援事業及びひばの里づくり推進事業の創設、創意工夫プロジェクト支援事業や総合型スポーツクラブ支援事業等により3263万円、3・1%の増、繰出金は介護保険特別会計への繰出金の増加などにより、3503万円、3・4%の増などが主な特徴です。

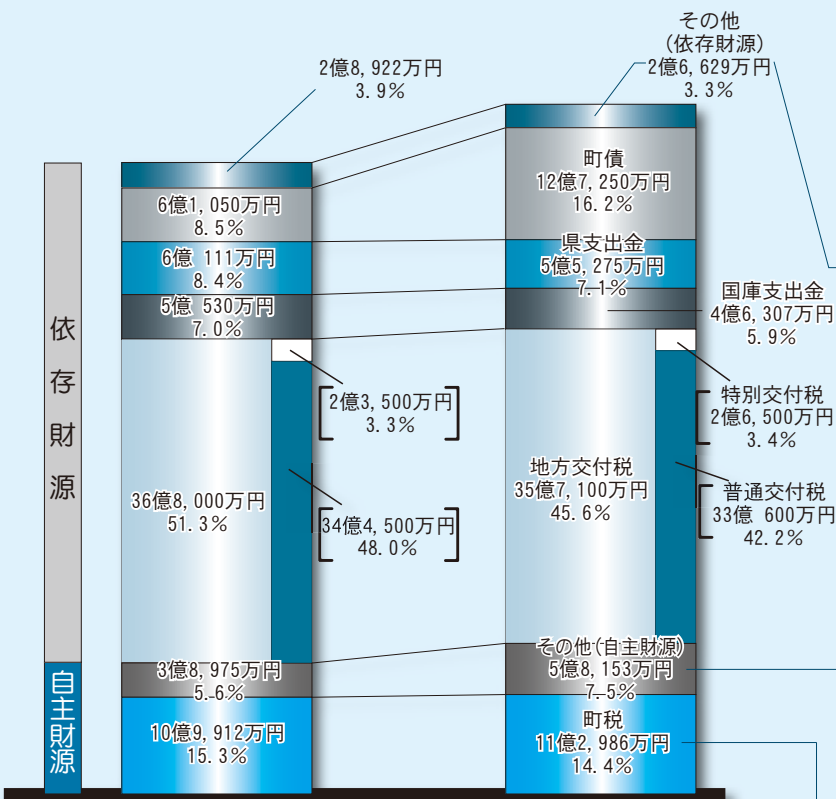
【特別会計・事業会計】

全体で57億3988万円を計上し、前年度に対し1億1938万円、2・1%の増となりました。下水道事業及び水道事業における公債費の減少などがあるものの、介護保健事業でのサービス基盤の充実や介護報酬の改定などによる介護保険給付の増加が主な要因となっています。

以上、一般会計に特別会計等を合わせた当初予算総額は、135億7688万円、6・1%の増となりました。

平成24年度一般会計

予算



その他(依存財源)内訳

項目	金額	構成比(%)
地方譲与税	1億 860万円	1.4
利子割交付金	300万円	0.0
配当割交付金	130万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	13万円	0.0
地方消費税交付金	1億2,700万円	1.6
自動車取得税交付金	1,940万円	0.2
地方特例交付金	426万円	0.1
交通安全対策特別交付金	260万円	0.0
小計	2億6,629万円	3.3

その他(自主財源)内訳

項目	金額	構成比(%)
分担金及び負担金	1億3,157万円	1.7
使用料及び手数料	4,550万円	0.6
財産収入	442万円	0.1
寄附金	500万円	0.1
繰入金	1,964万円	0.3
繰越金	1億6,000万円	2.0
諸収入	2億1,540万円	2.7
小計	5億8,153万円	7.5

町税内訳

項目	金額	構成比(%)
町民税	4億8,740万円	6.2
固定資産税	4億9,552万円	6.3
軽自動車税	3,802万円	0.5
たばこ税	6,398万円	0.8
入湯税	696万円	0.1
都市計画税	3,798万円	0.5
小計	11億2,986万円	14.4

歳入予算(前年度比較)

各会計予算を前年度と比較すると

会 計 名	平成 24 年度 予算額 (A)	平成 23 年度 予算額 (B)	比 較			
			(A) — (B)	伸 率		
一 般 会 計	78 億 3,700 万円	71 億 7,500 万円	6 億 6,200 万円	9.2%		
特 別 会 計	十王財産区	36 万円	37 万円	▲ 1 万円	▲ 3.2%	
	下 水 道	5 億 2,009 万円	5 億 2,635 万円	▲ 626 万円	▲ 1.2%	
	国民健康保険	16 億 2,338 万円	16 億 3,215 万円	▲ 877 万円	▲ 0.5%	
	農業集落排水	1 億 4,311 万円	1 億 4,817 万円	▲ 506 万円	▲ 3.4%	
	介 護 保 険	15 億 1,288 万円	13 億 8,305 万円	1 億 2,983 万円	9.4%	
	後期高齢者医療	1 億 4,147 万円	1 億 3,288 万円	859 万円	6.5%	
	事 業 会 計	水 道	収益的支出	2 億 9,811 万円	2 億 9,958 万円	▲ 147 万円
資本的支出			1 億 7,916 万円	1 億 7,318 万円	598 万円	3.5%
病 院		収益的支出	11 億 4,620 万円	11 億 4,400 万円	220 万円	0.2%
		資本的支出	1 億 4,182 万円	1 億 4,642 万円	▲ 460 万円	▲ 3.1%
訪問看護 ステーション		収益的支出	3,330 万円	3,284 万円	46 万円	1.4%
		資本的支出	0 万円	150 万円	▲ 150 万円	皆減
合 計	135 億 7,688 万円	127 億 9,549 万円	7 億 8,139 万円	6.1%		

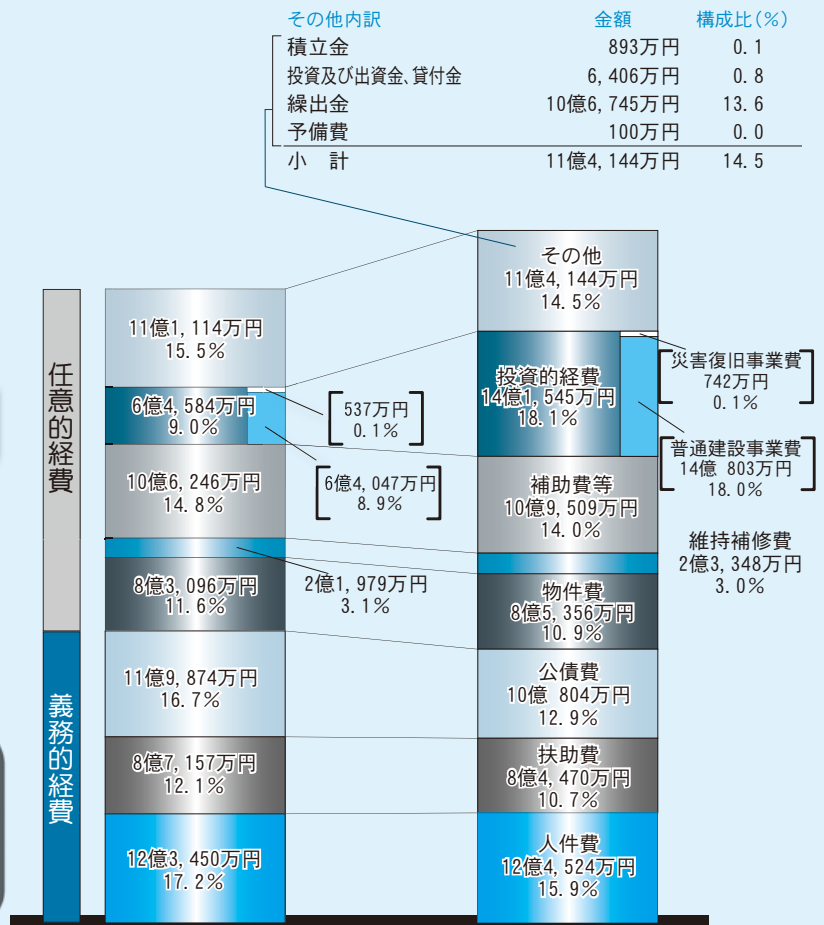
※万円未満は端数を整理しています。
※比較の「▲」は減少を表しています。

総額
78億3,700万円

前年度比9.2%増



町民一人当たりで見ると
506,692円



平成23年度
総額71億7,500万円

平成24年度
総額78億3,700万円

歳出予算(前年度比較)

美しいまち」を目指します

平成24年度町職員



(4月1日付全職員)

町長 佐藤 誠七
副町長 野村 一芳
教育長 岡田 勉

総務課

課長 横澤 浩
課付課長 衣袋幸治
企画主幹 齋藤重雄
課長補佐 田宮 修

(総務係)

◎田宮 修(兼) ◎黒澤和幸

(財政係)

◎菅原綾子・鈴木久美・小口将太(併)

(防災管財係)

◎長岡 聡◎橋本秀和◎梅津友宏

(企画調整係)

◎小関新治◎今野友博

(情報係)

◎菊地 正(兼)

課付

◎橋本達也◎大滝敏広・小林詩乃

税務出納課

◎鈴木秀昭(後期高齢者医療広域連合派遣)
会計管理者(兼) 課長 樋口幸江
課長補佐 青木 潔(出納・収納担当)
課長補佐 飯澤達男(税務担当)

(町民税係)

◎飯澤達男(兼) ◎横澤美代子

(資産税係)

◎菅間伸子◎平井正秋・大塚広子

(収納係)

◎村上利晴◎菅原保文・小関 見

(出納係)

◎伊藤 隆・安達桂子・後藤尚道
◎青木 潔(兼) ◎高田咲子

町民課

課長 布施房子
課長補佐 芳賀和則
◎上村とよ子◎菅原美樹・木村真弓

健康福祉課

課長 松野芳郎
課長補佐 菅原良教(子育て・健康推進担当)
課長補佐 齋藤春美(福祉・介護支援担当)
◎菅原良教(兼)◎布施とも子
◎金田範子◎田中由美子
◎高橋康子(兼)

(福祉係)

◎佐藤美咲・広川悠太
◎芳賀和則(兼) ◎後藤由香
◎佐藤圭子・齋藤由加里
◎本木 修◎橋本こずえ・金子秀人
◎くらし環境係◎

(子育て支援係)

◎庄司義徳◎永沢照美◎高橋朋代

(介護保険係)

◎齋藤春美(兼) ◎遠藤由可理
◎鎌倉裕美

(健康推進係)

◎飯澤とよ◎木口祐里◎菊地るり
◎海老名まゆみ・大木陽子

(地域包括支援センター係)

◎鈴木由紀子◎橋本彰子
◎永沢照美(兼) ◎棚村 薫

◎五十嵐麻里子・村上るみ子
飯澤とよ(兼主任ケアマネジャー)
海老名まゆみ(兼ケアマネジャー)
大木陽子(兼ケアマネジャー)

健康福祉センター
所長 高橋一二三(兼)
次長 松野芳郎(兼)

健康福祉センター

地域包括支援センター センター長 松野芳郎(兼)
子育て支援センター センター長 松野芳郎(兼)
こぐわ 園長 守谷美年子◎村上美津子

あゆかい 園長

◎市川昭美◎飯沢初美・小林栄子
◎今 房子◎今野悦子◎佐藤敦子

ひがしね 園長

◎橋本三千子◎高橋和子・鑑 典子
◎鈴木洋子◎川井とも・紺野久美子

ひがしね 園長

◎鈴木洋子◎川井とも・紺野久美子

ひがしね 園長

◎鈴木洋子◎川井とも・紺野久美子

産業振興課

課長 湯澤政利
課長補佐 高橋秀司(商工観光担当)
課長補佐 菅間直浩(農林担当)

(農業振興係)

◎大木健一◎青木ひろみ
◎大瀧勇祐・小谷部哲

(農村整備係)

◎熊谷裕治(兼検査員)・小形 守
村上博之・大滝康博(兼)

(商工振興係)

◎菊地 智◎布川和浩

(観光交流係)

◎佐藤順智◎芳賀敦子◎片山正弘
課長(兼) 統括検査員 菅原昇一

建設水道課

水道主幹 横澤 浩(併)
課長補佐 今野秀一(建設担当兼検査員)
課長補佐 元木康仁(上下水道担当)
課長補佐 鈴木秀一

(管理係)

◎鈴木秀一(兼) ◎大滝真実(兼)
小関源四郎

(用地係)

◎今井茂男◎丹野和彦(兼)
◎小関幸一◎丹野和彦

(土木係)

◎小関源四郎(兼)

(都市計画係)

◎菊地 正・大滝康博
◎今野秀一(兼) ◎大滝真実

(水道係)

◎長澤三千夫

(水道工務係)

◎矢嶋寿彦◎高橋真弘

(下水道係)

◎松下貴洋◎高橋真澄

(下水道工務係)

◎元木康仁(兼) ◎小口豊仁
事務局長 鈴木美弘
事務局長補佐 鈴木克仁(併)

(議事係)

◎鈴木克仁(兼) ◎衣袋則子
事務局長補佐 田宮 修(併)
書記長補佐 横澤 浩(併)

選挙管理委員会事務局

書記長補佐 田宮 修(併)
◎黒澤和幸(併) ◎今野友博(併)
◎菅原綾子(併)・鈴木久美(併)
小口将太

※◎は係長・主査、○は主任、太字は異動者、(兼)は兼務、(併)は併任

「笑顔かがやき 心かよう」

町立病院	教育委員会	農委	監査
町立病院 診療部 (診療科) 内科医長 柴田裕次(兼)	教育委員会 (学校教育係) 蚕桑小学校 西中学校 (生涯学習係) 生涯スポーツ係 (文化振興係) 就業構造改善センター 中央公民館 (庶務係) 図書館 学校給食共同調理場 (業務係) 学校給食共同調理場 (調理係)	農委 農業委員会事務局 事務局長 湯澤政利(併) 事務局長補佐 菅原 護 (農地調整係) 教育次長 迎田博正 次長補佐 樋口 浩(学校教育担当) 次長補佐 佐藤雅志(生涯学習担当) 指導主事 海老名智樹 (学校教育係) 樋口 浩(兼)・海老名智樹 齋藤久美子・高田 博 中川拓也 青木俊雄 川村宗一 川部茂樹 関 宏道 高橋浩之 竹田美紀 佐藤雅志(兼) 竹田雅紀子 川部茂樹(兼)	監査 監査委員事務局 事務局長 鈴木美弘(併) 事務局長補佐 鈴木克仁 (衣袋則子(併))

町立病院
町立病院 外科医長 木村真五 内科医師 芦澤公德(嘱託) 室長 高橋一三三(兼) 副室長 藤島 丈(兼) 医師 木村真五(兼) 看護師長 木村アヤ子 技術主幹 松尾信一 副薬局長 海老名純子・熊谷岳仁 室長 大道寺妙・長岡さとみ 加藤裕之 副室長 小笠原強 (リハビリテーション科) 金田雅子・小平英恵 (栄養科) 大貫由佳子 看護部 総看護師長 長岡恵美 看護師長 金子陽子 菅原芳子・児玉恵美・鈴木万理子 色摩純子・中野 緑 看護師長 樋口昌子 看護師長 木村アヤ子(兼) 梅津洋子・船山元子・北原広美 伊藤信子・三上悦子・伊藤加代子 五十嵐美香・副田恵美・平井育子 佐藤朝美・平田美帆・遠藤彩子 齋藤 恵・安彦真紀・竹田美喜子 小松文恵・齋藤麻唯・古口絵理子 小川 瞳・梅津清香・佐藤純平 梅津孝子・布施咲子 左右田加代子 事務局 事務局長 中村裕之 (総務係) 渡部町子・須田 瞳 訪問看護ステーション 看護師長 石川真知子 渡部理恵

退職
 平成24年3月31日付
 議事録局長(併) 監査委員事務局長
 建設水道課長(兼) 統括検査員
 町立病院技術主幹(兼) 薬局長
 町立病院 看護師
 町立病院 准看護師
 村 上 隆
 福 田 文
 横 田 壽一
 山 口 愛子
 竹 田 登代子

「町民のみなさん、どうぞよろしくお願ひいたします」
 —平成24年度採用職員等の紹介—

 後藤尚道 税務出納課 収納係	 布川和浩 産業振興課 商工振興係	 大木陽子 健康福祉課 健康推進係	 小関源四郎 建設水道課 管理係	 鈴木久美 総務課 総務係
 佐藤純平 病院 看護師	 梅津清香 病院 看護師	 熊谷岳仁 病院 薬剤師	 広川悠太 町民課 戸籍年金係	

- ◆各分団消防係
- 第1分団 小谷部哲/第2分団 村上博之
- 第3分団 小林 裕/第4分団 小関 見
- 第5分団 小形 守
- ◆財産区書記
- 蚕桑 中川拓也/十王 衣袋則子
- 滝野 齋藤久美子/萩野 小関 見
- 中山 大木健一/浅立 村上利晴
- 畔藤 金子秀人

役場各課・係業務のごあんない

各課・係の業務の概要などを掲載しました。お問い合わせや役場などを訪れる際の参考にしてください。

	課名	係名	業務概要	電話番号
本庁舎1階	町民課	戸籍年金係	戸籍の届け、住民票、印鑑登録、諸証明、国民年金に関すること	85-6129
		国保医療係	国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療の医療費・医療証、しらか元気っ子事業の医療費に関すること	85-6130
		くらし環境係	ごみのこと、環境、公害、犬の登録、生活相談、交通安全、防犯に関すること【町民生活相談センター】	85-6131
	税務出納課	町民税係	町税や国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、軽自動車の登録・廃止に関すること	85-6132
		資産税係	固定資産税、固定資産課税台帳・公図の整備保管に関すること	85-6133
		収納係	各種税及び保険料などの収納管理や滞納処分などに関すること	85-6106
出納係		町公金の支払い、受け取りに関すること	85-6134	
2階	総務課	総務係	区長町内長届け、文書配布、情報公開・個人情報保護、人事に関すること	85-6120
		企画調整係	フラワー長井線、デマンド交通、ふるさと応援制度、まちづくり助成事業、白鷹人育成事業、地域づくりや町政運営の総合企画調整に関すること	85-6123
		財政係	財政計画や予算の編成、管理に関すること	85-6122
		情報係	広報広聴、地域情報、各種統計に関すること	85-6121
		防災管財係	消防、防災、財産の取得・管理に関すること	85-6124
	選挙管理委員会事務局		選挙の管理や選挙啓発活動の推進に関すること	85-6124
	産業振興課	農業振興係	農政の総合計画と農業振興対策に関すること 白鷹町農業再生協議会(地域農業活性化センター)に関すること	85-6127
		農村整備係	土地改良区の指導や農村総合整備事業、林業振興に関すること	85-6125
		商工振興係	商工業の振興、関係団体の支援、労働、雇用対策に関すること	85-6136
		観光交流係	観光物産の振興、グリーン・ツーリズム、定住、交流の促進に関すること	85-6126
	農業委員会事務局	農地調整係	農地法による許可申請や農業者年金、農業委員会の会議などに関すること	85-6128
3階	議会事務局	議事係	議会の本会議の議事や委員会に関すること	85-6135
分庁舎	建設水道課	管理係	工事入札及び契約、町営住宅の管理、住宅支援に関すること	85-6140
		用地係	町有地の買収補償、地籍調査に関すること	85-6139
		土木係	道路、河川などの工事、調査、測量、設計、維持管理に関すること	85-6142
		都市計画係	都市計画や都市公園、土地区画整理事業に関すること	85-6140
		水道係	水道事業や料金の納付、水道開閉栓等に関すること	85-6137
		水道工務係	浄水場管理や取水、浄水、配水等に関すること	85-6137
		下水道係	下水道事業や農業集落排水事業、合併処理浄化槽に関すること	85-6138
		下水道工務係	下水道事業や農業集落排水事業、合併処理浄化槽の計画及び設計工事に関すること	85-6138
中央公民館	教育委員会	学校教育係	学校教育、学校施設管理、教育相談等に関すること	85-6144
		生涯学習係	生涯教育の推進や公民館、その他社会教育機関に関すること	85-6146
		生涯スポーツ係	生涯スポーツの推進、スポーツ施設管理に関すること	85-6147
		文化振興係	芸術文化団体の育成、文化財の調査・保護・管理、町史編さん及び図書館に関すること	85-6146
		中央公民館庶務係	中央公民館に関すること	85-6143
		学校給食共同調理場	学校給食の調理などの業務に関すること	85-3136
健康福祉センター	健康福祉課	福祉係	高齢者福祉や障がい者福祉、民生・児童委員に関すること	86-0111
		子育て支援係	子育て支援、児童手当、保育園管理運営に関すること 【子育て支援センター】	86-0212
		介護保険係	介護保険に関すること	86-0213
		地域包括支援センター係	介護保険申請、高齢者の保健福祉に関すること	86-0112
		健康推進係	母子保健、各種検診、予防接種、健康づくりに関すること	86-0210
病院	町立病院		入院・外来・救急・人間ドック・レディース健診・予防接種など	85-2155
	訪問看護ステーション		訪問看護、ケア・プラン作成など	86-0123

地域のみなさん
よろしくお願ひします

鮎貝地区公民館 ●

館長 菊地豊宗(箕和田)
館長代理 佐藤良一(黒鴨)
主事 小林香菜(鮎貝)

● 蚕桑地区公民館

館長 金子孝吉(山口)
館長代理 丸川美紀(横田尻)
主事 鈴木晴美(鮎貝)

鷹山地区公民館 ●

館長 安部俊宏(萩野)
館長代理 紺野真一(萩野)
主事 竹田美佐子(荒砥)

● 十王地区公民館

● 荒砥地区公民館

館長 海老名慎一郎(十王)
館長代理 高木典幸(山口)
主事 青木満里子(荒砥)

館長 中村 元(荒砥)
館長代理 蒲生成子(荒砥)
主事 竹田伊智子(中山)

● 東根地区公民館

館長 齋藤和男(畔藤)
館長代理 衣袋祐子(荒砥)
主事 金田美加(高玉)

役場敷地にモニタリングポスト設置

文部科学省は、福島県及びその隣接県（宮城県、山形県、新潟県、茨城県、栃木県、群馬県）の市町村役場や公民館などの行政施設にモニタリングポストを設置しました。(全国484箇所)

モニタリングポストが設置されたことにより、空間中のガンマ線の線量率が設置機器に表示されます。また、測定結果が10分毎に文部科学省に送信され、ホームページで測定値が公開されています。これにより、白鷹町は24時間放射線量を確認することが可能になりました。

▼設置場所 役場敷地内（国旗掲揚棟隣）

▼確認方法

文部科学省ホームページ（放射線モニタリング情報）から白鷹町の放射線量が確認できます。

■担当

総務課防災管財係
(☎85-6122)



役場に設置されたモニタリングポスト

町立病院外科医長に
木村真五先生が着任



4月1日から、町立病院の外科医長に木村真五先生が着任されました。木村先生は山形市の出身で自治医科大学を卒業後、町立八幡病院、大蔵村診療所、公立置賜総合病院などで勤務されてきました。

町立病院にも平成12年6月から2年間勤務されていたことがあります。よろしくお願ひします。

また、外科の瀬尾恭一先生は3月31日をもって退任されました。1年間ありがとうございました。

平成24年4月から介護保険料が変わります

介護保険は、高齢者が住み慣れた地域において、尊厳あるその人らしい生活を可能な限り持続できるように、社会全体で介護を支えるためにつくられた制度です。制度を持続的に運営するために、3年ごとに事業計画の見直しを行っています。

平成24年度からの介護報酬改定や、今後の高齢化の進行、介護サービス利用者数や利用量の現状・見込みなどを踏まえ、第5期の介護保険事業計画を策定し、平成24年度から26年度までの介護保険料を設定しました。

介護保険事業費について

高齢化の進行や介護報酬の改定などを踏まえて、今後3年間の介護サービス利用料を推計すると、平成24年度から平成26年度の3年間で44億3800万円余りの介護保険事業費が必要になります。この事業費推計を基にして、介護保険料基準額を見直しました。

第1号被保険者の保険料基準額について

介護保険は、町が保険者となり事業を運営しています。その被保険者は、町内に住所を有する40歳以上のかたで、年齢により第1号被保険者（65歳以上のかた）と第2号被保険者（40歳以上65歳未満のかた）に分けられます。介護保険事業計画ではこのうち、第1号被保険者の保険料について見直しを行いました。

この見直しにあたっては、今後3年間の介護サービス必要量と事業費を推計するとともに、県や町の介護保険のための基金を可能な限り取り崩すことによつて、できる限り保険料の上昇を抑えました。それにより、平成24年度から平成26年度までの基準額を年額5万2572円と設定しました。

なお、第2号被保険者の保険料は、それぞれ加入している医療保険によつて異なりますので、それぞれの医療保険から通知されます。

所得段階ごとの介護保険料について

第5期の保険料は、所得の少ないかたの保険料などに配慮しながら、被保険者本人や世帯員の所得に応じて9段階に調整しています。

第1号被保険者介護保険料 基準額の推移

	年額(円)	月額(円)
第1期保険料基準額 (平成12年度～14年度)	32,704	2,725
第2期保険料基準額 (平成15年度～17年度)	36,000	3,000
第3期保険料基準額 (平成18年度～20年度)	44,400	3,700
第4期保険料基準額 (平成21年度～23年度)	42,600	3,550
第5期保険料基準額 (平成24年度～26年度)	52,572	4,381
(参考) 山形県平均 平成24年度～26年度	57,408	4,784



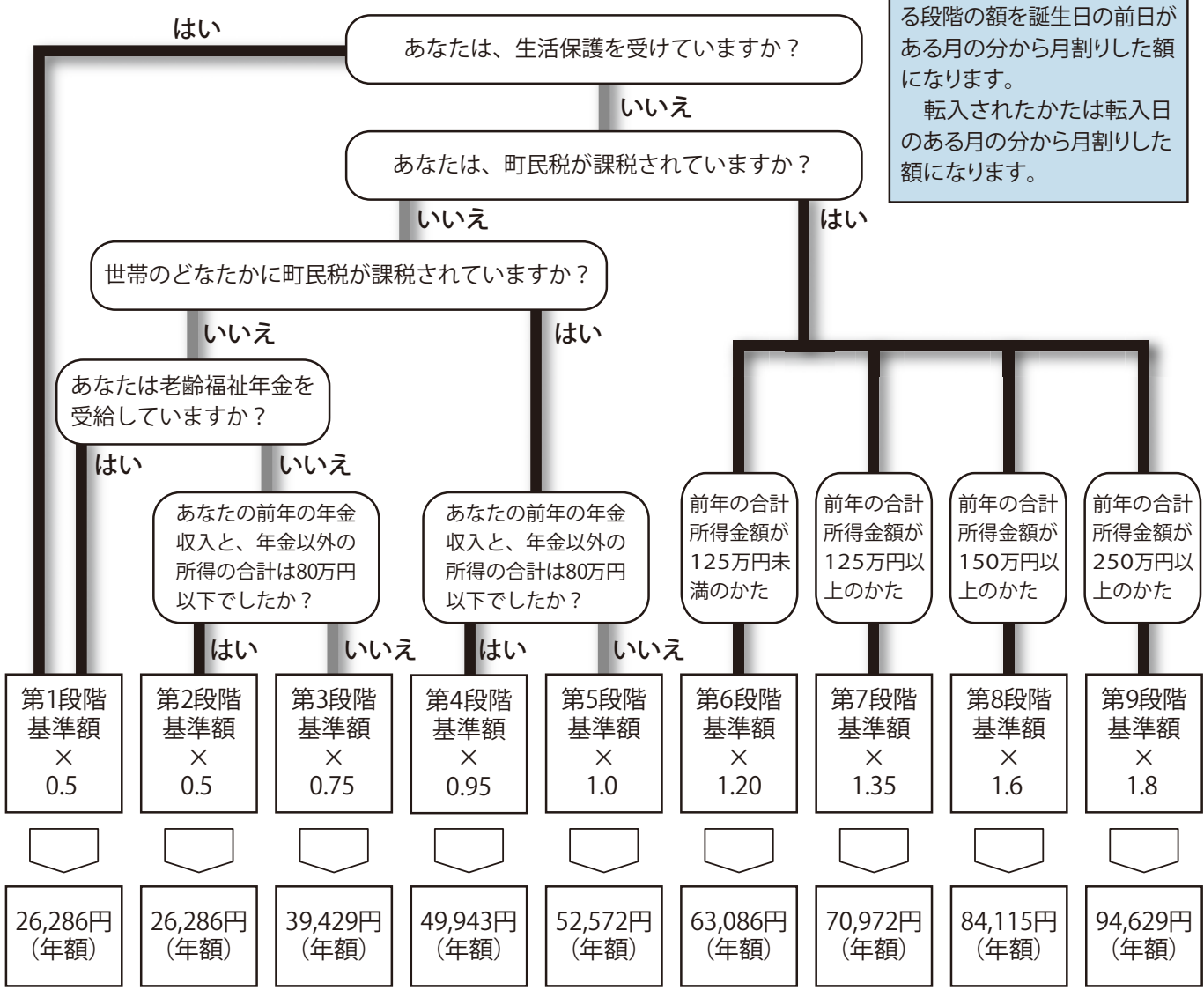
白鷹町の介護保険料基準額52,572円(年額)

65歳以上の保険料は「9段階」に調整されます。

- 上記の基準額をもとに、前年の所得などによって保険料を9段階に調整しています。
- 基準額は平成24年度から26年度まで同額です。

スタート

年度の途中で65歳になられたかたの保険料は、該当する段階の額を誕生日の前日がある月の分から月割りした額になります。
 転入されたかたは転入日のある月の分から月割りした額になります。



※個人ごとの保険料は、所得額や町民税額が決定した後、7月にお知らせします。

◎詳しくはお問い合わせください。

- 介護保険に関すること
健康福祉課 介護保険係 ☎86-0213
- 要介護認定、介護サービスに関すること
健康福祉課 地域包括支援センター ☎86-0112
- 介護保険料に関すること
税務出納課 町民税係 ☎85-6132
収納係 ☎85-6106

介護保険料の納付についてご相談ください

災害などの事情で保険料の納付が困難なときは、申請により保険料徴収の猶予や減免を受けられる場合があります。
 また、介護保険料の納付が遅れているかたや、その他特別な事情があり保険料の納付が難しいかたなどは、未納のままにせず、税務出納課収納係にご相談ください。

きれいな歌声がホールに響き渡った
少年少女合唱団第1回定期演奏会



3月25日、あゆ一むで白鷹町少年少女合唱団第1回定期演奏会が行われました。東日本大震災の影響で開催が延期され、今回待ちに待った演奏会となり、多くのかたが来場し会場を埋め尽くしていました。来場者全員で町民歌を斉唱した後、14曲が披露されました。踊りも取り入れられ、子どもたちのきれいな歌声に、みなさん耳を澄ませていました。合唱団は平成20年に発足し、現在35人で活動しています。

古典桜で外国人観光客を歓迎
外国人観光客誘致推進協議会設立



3月14日、あゆ一むで「やまがた桜の絆」外国人観光誘客推進協議会設立総会が開催され、町や県、長井市の観光関係者などが参加しました。「桜」をメインに山形ならではの風景や食、温泉などをセールスポイントとして東アジア（中国を中心に）の外国人観光客をターゲットに活動が展開されます。4月にはモニターツアーが実施され、古典桜の観賞や伝統工芸の体験などが予定されています。

県指定文化財の実現へ
古典桜の情報交換会が開催



3月30日、町内にある桜保存会など、桜に関わっているかたがたの情報交換会があゆ一むで行われました。それぞれの活動紹介や、桜に関するイベントの情報交換などが行われ「多くのお客さまを呼ぶためにも、町内の古典桜を一刻も早く県指定の文化財にしてほしい。」といった意見も出されました。主催は、町の古典桜の良さを再確認するために発足された「白鷹の桜を愛する会（成原政只代表）」です。

すばらしい自然環境の地で
マイスカイ中山竣工式



3月28日、特別養護老人ホーム「マイスカイ中山」の竣工式が行われ、町や施工業者などの関係者約90人が参加しました。マイスカイ中山は、平成19年に休校した中山小学校を活用した施設で、小規模特別養護老人ホーム29人、ショートステイ11人の合計で40人が利用できます。社会福祉法人そうめい会の齋藤理事長は「地域密着型の施設として利用いただきたい。」とあいさつされました。

第32回町バスケット
ボール大会結果

3/4(日)東中学校体育館
※○内の数字は順位

▼一般男子
①東根チーム ②十王チーム

▼中学男子
①東中学校 ②西中学校

▼中学女子
①東中学校 ②西中学校

▼スボ少男子
①白鷹西ミニバスケットボール
②白鷹ミニバスケットボール

▼スボ少女子
①白鷹ミニバスケットボール
②白鷹西ミニバスケットボール

第23回町民インディア
カ大会結果

3/4(日)荒砥小学校体育館

※○内の数字は順位

①荒砥愛好会

②T・S・Cトランプ (荒砥)

③東根フレンズA

③東根フレンズB

成績優秀者激励金を交付しました

全国レベルの優秀な成績を収めた町内の小・中・高校生に対する激励金交付事業。今回はスポーツ3部門での交付です。

①水泳

○青木順一くん(東中2年)

○紺野蒼天くん(東中2年)

東中水泳部で長井スイミング

クラブに所属する2人は、

2月に行われた県の記録会に

おいて全国標準記録を突破し、

3月27～30日に開催された全

国競技会に出場。それぞれ個

人種目のほか、長井スイミン

グクラブとして400メド

レーリレーにも出場しました。



紺野くん(左:平泳) 青木くん(右:背泳)

②バスケットボール

○村上魁人くん(東中2年)

両親と兄、妹と家族全員が

バスケットに打ち込む一家に育つ

た村くん。これまでの活躍

が山形県協会に認められ、県

中学校選抜ジュニアオールスタ
ター選手の一人に選ばれ、全
国大会に出場しました。



③スキー

○青木菜々さん(荒砥小6年)

○大滝夏希さん(荒砥小5年)

○伊藤 董さん(荒砥小5年)

○大沼亮輔くん(鮎貝小4年)

白鷹ジュニアレーシングス

ポーツ少年団に所属し、連日

連夜練習に励んだ4人は、県

予選会で優秀な成績を収め、

このたび岩手県安比高原スキ

ー場で開催された全国大会に

出場しました。



左上から時計回りに伊藤さん、
青木さん、大滝さん、大沼くん

地域づくりに取り組み「いきいき深山郷づくり推進協議会」が大臣表彰をダブル受賞

いきいき深山郷づくり推進協議会(須田信一会長)が、地域づくり総務大臣表彰と美の里づくりコンクール農林水産大臣賞を受賞しました。

▼地域づくり総務大臣表彰

この賞は、協議会による深山和紙の伝承保存に関する活動や、毎年9月に開催されている「しらたか工芸体験まつり」、のどか村の運営などを通して交流人口の拡大につながっていることが評価されたものです。また、集落全体が世代や地域を越えてネットワークを強め、コミュニティビジネスとして成功していることも受賞の大きな要素となりました。この賞は全国で21団体が受賞しており、町で初の受賞となりました。

▼美の里づくりコンクール農林水産大臣賞

この賞は、地域資源を生かした景観の保全や形成に関する取り組みの優れた団体に贈られるものです。



須田会長(右)と加藤副会長

しらたか塾フォーラム開催

3月20日、産業センターでしらたか応援団(仮)によるしらたか塾フォーラムが開催され、約70人が参加しました。今回応援団が公募したロゴマークが発表され、荒砥在住の梅津さんのデザインが採用・表彰されました。

フォーラムでは、町内で活躍する4団体から活動紹介があり、その後、しらたか夢未来発掘事業の事業報告会が行われました。

会場内は白鷹音頭が流されるところ、応援団らしい粋な演出もあり、若者のパワーが感じられるフォーラムでした。

採用されたロゴマーク



しらたか応援団(仮)
羽根の内側に町内6地区の名前が表示されています。

しらたか応援団(仮)は一緒に活動してくれる団員を募集しています!



暖かくなります

交通事故に要注意

◆春は歩行者・自転車利用者の行動が活発になる時期です

●交通安全のために：

①車の運転中は前をよく見て「運転に集中」

②道路を横断する時は手で合図「渡る意思を伝えよう」

③全席シートベルト着用「幼児はチャイルドシート」

●人も車も自転車も「しっかりと止まってはつきり確認」

●スピード落として安全運転！



出がけに一声「事故に気をつけて！」



◆桜開花期の地域安全運動期間【4月中旬～5月上旬】

●スローガン

【みんなでつくろう安心の街】

●運動の重点

①少年非行の防止

②空き巣等侵入盗の防止

③自転車・オートバイなど乗り物盗の防止

④振り込め詐欺、悪質商法等の被害防止

⑤子ども・女性を対象とした各種犯罪の防止

ご近所声かけあつて防犯対策

○白鷹町防犯協会は各支部

(地区)ごとに、青色回転灯

を点灯した通称青パトで、児童生徒の下校時間帯に合わせて防犯パトロール活動をして

いただいています。

地域で力を合わせて、防犯

に強いまちを目標

指しましょう。

ご存知ですか？



■問い合わせ

町民課くらし環境係

(☎85-6131)

長井警察署(☎84-0110)

白鷹西駐在(☎85-2029)

白鷹東駐在(☎85-2046)

くらしの情報

山形県消費生活サポーターを募集します

県では、消費生活に関するボランティアとして「山形県消費生活サポーター」を募集しています。県内在住の20歳以上のかたで、悪質商法による被害防止など、消費生活に関心のあるかたならどなたでも応募できます。

▼活動内容

・県から送付されるパンフレットを読んで消費生活に関する知識を身につける

・県内で行われる研修会や消費生活出前講座を受講する

・身の回りで起こった悪質商法の被害などを消費生活センターに報告する など

▼申込期限 5月末日

▼申込先 山形県消費生活センター(☎023-630-3237)

■問い合わせ 町民課くらし環境係(☎85-6131)

白鷹町成人式を開催します

◆一生に一度の成人式

今年度の成人式を下記のとおり開催します。対象のかたには7月上旬にご案内します。郷土を離れている皆さんにも、ご家族のかたから、日程について今からお知らせください。

- いつ 8月15日(水) 午前10時～
- どこで 産業センター(パワーセンター白鷹)
- 対象 平成3年4月2日生から平成4年4月1日生ままでのかた

*平成18年度東・西中学校卒業者と、平成24年6月1日現在白鷹町に住民登録されているかたには、詳細について往復はがきでご案内します。



◆「成人祭」実行委員を募集します

厳かな成人式の後には、久しぶりに再会する友人や恩師などとの語らいの場として「成人祭」が開催されます。この「成人祭」は成人者の皆さんで構成する実行委員会が自らの企画運営で行っており、その実行委員を募集しています。思い出に残る「成人祭」とするため、ふるってご応募ください。

- 実行委員応募締め切り 5月7日(月)
- 申込・問い合わせ 教育委員会生涯学習係(☎85-6147)

健康診査やがん検診を受けましょう！！

その1. 健康診査を受けて、『生活習慣病予防』

結果を今後の生活習慣改善に活用しましょう。

そのままにしていると動脈硬化が進み、心臓病や脳卒中などの重い生活習慣病になる危険があります。

- 食事** ・バランスよく・3食しっかり・塩辛いものは控えて・野菜はしっかりと
運動 ・適度な運動、適切な体重維持
嗜好品 ・お酒はほどほどに・たばこは吸わない、他人のたばこの煙をできるだけ避ける



血圧・血糖・脂質、全部ひっかかったら何から気をつけたらいいのかなあ

その2. がん検診を受けて、『がん・疾病の早期発見、早期治療』

<p>【胃がん】 年1回検診</p> <p>胃がんは進行しても全く症状がでないもの、胃痛・胸焼けなどの症状があるものさまざまです。</p>	<p>【肺がん】 年1回検診</p> <p>喫煙している人はもちろん、まわりの人への悪影響もあり、壊れた機能は戻りません。がんの他、呼吸がうまくできない慢性閉塞性肺疾患の予防も必要です。</p>	<p>【結核】 年1回検診</p> <p>結核は昔の病気ではありません。65歳以上のかたは毎年検診を受けましょう。</p>	<p>【前立腺がん】 年1回検診（男性）</p> <p>比較的進行がゆっくりしていますが、年をとることにより多くなるがんのひとつです。</p>
<p>【子宮頸がん】 年1回検診（女性）</p> <p>子宮頸がんは若い世代、特に20歳代で増加傾向にあります。</p>	<p>【乳がん】 2年に1回検診（女性）</p> <p>閉経後の肥満、飲酒、喫煙によりリスクが高くなり、40～50歳代に多いがんです。検診＋自宅で自己検診を実施しましょう。</p>	<p>【大腸がん】 年1回検診</p> <p>便に血液が混じっているか調べる検査は有効性が高く、早期に発見できれば完全に治る可能性も高くなります。</p>	<p>【肝炎ウイルス】 一度は検診</p> <p>B型・C型肝炎ウイルスに感染した人は、肝がんになりやすく、一度は検診を受けましょう。</p>

その3. 上記□の検診のうち、下記対象年齢のかたは無料で検診を受けられます。

詳しくは、後日個別にご案内いたします。

【子宮頸がん検診】

年齢	生年月日
20歳	平成3年4月2日～平成4年4月1日
25歳	昭和61年4月2日～昭和62年4月1日
30歳	昭和56年4月2日～昭和57年4月1日
35歳	昭和51年4月2日～昭和52年4月1日
40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日

【乳がん検診】【大腸がん検診】【肝炎ウイルス検診】

年齢	生年月日
40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日
45歳	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日
50歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日
55歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
60歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日

検診の日程は元気ニコニコ推進カレンダーか町報お知らせ版をご覧ください。随時追加申し込みも受け付けております。

■問い合わせ 健康福祉課健康推進係 (☎86-0210)

白鷹町住宅需要拡大促進事業

前年度に引き続き、町内に自ら居住する住宅及び店舗の新築・増改築・修繕などを行う場合、施主に対して給付金を交付します。この事業は、白鷹町商工会が事業実施主体となり行うもので、町内における持家住宅の建設促進や増改築による住環境の整備を推進し、併せて地元関連業界の振興及び消費需要の拡大、景気浮揚を目的として実施するものです。

▼対象物件 持家、店舗など
▼対象工事 対象物件の新築、増改築及び修繕工事、給排水衛生施設整備工事で、平成25年2月20日まで完成することのできる工事

▼対象工事費の下限 工事請負額が50万円以上
▼給付金交付額 対象工事費の10%以内の額

※住宅の新築工事は50万円、その他の工事は30万円を限度額とします。

※対象工事に省エネ化の工事(※1)を含む場合、住宅の新築工事は70万円、その他の工事は40万円を限度額とします。

※1省エネ化の工事とは、①高効率給湯器を設置する工事②太陽

※白鷹町住宅需要拡大促進事業と白鷹町住宅リフォーム

総合支援事業(真補助事業)については、併用できる場合があります。その場合の要件や上限額など詳しくはお問い合わせください。

白鷹町住宅リフォーム総合支援事業等

1 白鷹町住宅リフォーム総合支援事業

▼対象物件 住宅

▼対象工事 住宅のリフォーム(住宅の部分補強、省エネ化、バリアフリー化、県産木材使用のい

ずれかを含む工事)を行う工

事で、平成25年2月20日まで

工事完了の届出ができる工事

▼対象工事費 請負契約額が50万円以上

▼補助金交付額 工事費の10%以内の額(上限20万円)

▼交付を受けるための要件

①施工業者が県内業者であること

②工事にかかるその他の補助金、利子補給などを受けていないこと(※)

③町税などの滞納がないこと。

2 白鷹町木造住宅耐震診断士派遣事業

昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅の耐震診断を実施します。

▼対象件数 先着5件

▼診断料 6000円

※町の負担:5万4000円

3 白鷹町木造住宅耐震改修事業

2で耐震診断を受けた住宅の所有者が耐震改修工事を行う場合、工事費の2分の1の金額を補助します。

※2分の1の額が120万円を超える場合、120万円が限度額。

▼対象件数 先着3件

4 木造住宅耐震診断士への登録について

建築士(一級、二級、木造)の資格をお持ちのかたで、山形県もしくは市町村、または財団法人日本建築防災協会などが主催する木造建築物耐震診断の業務に必要な講習会を受講されているかたは、白鷹町木造住宅耐震診断士として登録してください。

随時受け付けいたします。

■問い合わせ 建設水道課管理係(☎85-6140)

3 白鷹町木造住宅耐震改修事業

2で耐震診断を受けた住宅の所有者が耐震改修工事を行う場合、工事費の2分の1の金額を補助します。

※2分の1の額が120万円を超える場合、120万円が限度額。

▼対象件数 先着3件

4 木造住宅耐震診断士への登録について

雇用創出促進事業

高い失業率や低い有効求人倍率が示すように、町内の雇用情勢は非常に厳しい状況にあります。町では、このような状況の解消を目的に、町内で事業を営む法人や個人の皆さまの理解と協力をいただきながら「雇用創出促進事業」に取り組みます。

【事業概要】

町内に事務所、店舗、工場などを有し事業を営む法人や個人が、ハローワークに求人申込を行い、町民のかたを雇用した場合、一人当たり60万円を上限に奨励金を交付するものです。

【申請方法】

雇用主(事業を営むかた)が、求職者を雇用した後、産業振興課で交付する申請書に以下の書類を添えて、

雇用した日から14日以内に申請してください。

- ①雇用保険被保険者資格取得等確認通知書(事業主控)の写し
- ②新たな雇用者に係る労働条件通知書の写し

■ほかにも要件などがありますので、くわしくはお問い合わせください。

産業振興課商工振興係(☎85-6136)



白鷹町の バランス シート

バランスシートは、一般家庭を例に考えると、毎月の収支ではわからない住宅ローンの残額（負債）や家、車、預貯金など（資産）の状況を示すものです。町のバランスシートは、左側（借方）に将来に引き継がれる町民の財産（道路、公園、学校など）、右側（貸方）にその財産を取得するために費やしたお金を、将来の町民の負担（負債）と、これまでの世代が負担した分（正味資産）に分けて示しており、「資産＝負債＋正味資産」という形で、バランスの取れた表になっています。

バランスシート(平成22年度末版)〈要約版〉

(単位：百万円)

借方(資金の用途)		貸方(資金の源泉)	
【資産の部】		【負債の部】	
将来に引き継がれる町民の財産		将来の町民の負担分	
1. 公共資産		1. 固定負債	
・ 蛸川町・駐地	12,187	・ 地方債	6,773
・ 産業振興	3,165	・ 債務負担行為	0
・ 教育	10,438	・ 退職給与引当金	1,432
・ その他	2,176	固定負債合計	8,205
資産合計	27,966	2. 流動負債	
		・ 翌年度償還予定額	1,074
		・ 翌年度繰上充用金	63
		流動負債合計	1,137
		負債合計	9,342
2. 投資等			
・ 投資及び出資金	2,288		
・ 貸付金	123		
・ 基金	770		
・ その他	66		
投資等合計	3,247		
3. 流動資産			
・ 現金・預金	1,298		
・ 未収金	18		
流動資産合計	1,316		
資産合計	32,529		
		【純資産の部】	
		これまでの世代の負担分	
		・ 公共資産等整備国庫補助金	4,562
		・ 公共資産等整備一般財源等	22,173
		・ その他一般財源等	Δ3,557
		・ 資産評価差額	9
		純資産合計	23,187
		負債・正味資産合計	32,529

農道、道路、橋、公園、学校、公民館などの行政財産の資産評価額を目的別に示しています。

白鷹町アルカディア財団、西置賜ふるさと森林組合などの団体に対する出資金などを示しています。

ふるさと融資などの貸付金を示しています。

公共施設整備基金、土地開発基金、生涯学習推進基金などの用途が特定化されている基金(特定目的基金)を示しています。

財政調整基金、減債基金、歳計現金を示しています。

町税、貸付金などの未収金を示しています。

町債の平成22年度末残高のうち平成23年度に償還が予定されている町債元金額を「流動負債」の「翌年度償還予定額」に計上し、それ以外の町債元金額を「固定負債」に計上しています。

年度末に在職する普通会計職員全員が自己都合により退職したと仮定した場合に必要な退職手当額を示しています。

※表示単位未満を四捨五入しているため、各計数の積み上げと合計が一致しない場合があります。

(平成23年3月31日現在)

バランスシートを使った主な財務分析

財務分析の項目	白鷹町
① 現世代負担比率(%)	82.9
② 将来世代負担比率(%)	33.4
③ 純資産比率(%)	71.3
④ 歳入額対公共資産比率(%)	4.07
⑤ 町債返済可能年数(年)	3.07

バランスシートを 町民一人あたりに換算すると…

資産の額	負債の額
206万4,000円	59万3,000円
	純資産の額
	147万1,000円

主な財務分析項目について

- ① 社会資本形成の世代間負担比率
社会資本整備の結果を示す有形固定資産のうち、これまでの世代によってすでに負担した分の割合(①)と、将来の世代で負担する割合(②)であり、将来負担を考えると①の方が大きいことが望まれますが、世代間の負担公平ということから見れば、②の数値が低すぎることも問題です。
- ② 純資産比率
企業会計でいう自己資本比率にあたり、比率が高いほど財政状態が健全であるといえます。ただし、バランスシートの純資産は「これまでの世代の社会資本形成の負担額」であり、この比率が高いことがそのまま投資余力があるということにはつながりません。
- ④ 歳入額対公共資産比率
資産の合計が収入合計の何年分に該当するかを表します。
- ⑤ 町債返済可能年数
毎年の収入のうち、町債の返済に充てることが可能な金額のすべてをもって返済したと仮定した場合の返済所要年数で、年数が少ないほど財政状況が健全であるといえます。

詳しい分析資料をご覧になりたい場合は、総務課財政係(☎85-6124)まで町のホームページでも公開しています。

平成24年地価公示結果について

3月22日、国土交通省から平成24年地価公示結果が公表されました。本町に関するものは、次のとおりです。

山形鉄道フラワー長井線荒砥駅の東方約550m
荒砥駅前バス停まで約300m

白鷹 - 1	大字荒砥乙字出来町 東958番	22年	23年	24年
		円 17,900 (▲4.8)	円 17,100 (▲4.5)	円 16,300 (▲4.7)

白鷹 - 2	大字鮎貝字桐町二 2406番1	22年	23年	24年
		円 11,600 (▲4.9)	円 11,000 (▲5.2)	円 10,400 (▲5.5)

山形鉄道フラワー長井線荒砥駅の南東方約700m
横町バス停に近接

白鷹 5-1	大字荒砥乙字横町 1014番 (芳賀輪店)	22年	23年	24年
		円 28,200 (▲6.3)	円 26,600 (▲5.7)	円 25,000 (▲6.0)

対前年度変動率(単位:%)

	住宅地	商業地	準工業地	工業地	調区内宅地
白鷹町平均	▲5.1	▲6.0	—	—	—
山形県平均	▲4.1	▲4.8	▲4.7	▲4.6	▲3.7
全国平均	▲2.3	▲3.1	—	▲3.2	—

地価公示とは

地価公示法の規定に基づき実施するもので、県内の都市計画区域内で標準的な使用方をしている土地(以下「標準地」)を選び、その適正な土地価格を公表するものです。土地を売買する際の目安にしたいだけでなく、国や地方公共団体などが公共用地等を買収する場合の基準ともなるほか、適正な地価の形成に大きな役割を果たしています。

土地を売買されるときは、まず地価公示価格を調べましょう。

注) 価格は、1平方メートルあたりの価格を過去3年分について表しています。また、() 内の数字は、対前年変動率(%)です。「▲」は減少を表しています。

売買の対象となる土地の条件(土地の形状、道路の条件、最寄駅からの距離、上下水道の整備状況など)を標準地と比較すれば、おおよその適正な価格がわかります。地価公示結果、役場で簡単に閲覧できますので、土地売買のときには、まず地価公示価格をお調べください。標準地は皆さんの身近なところにあります。なお、地価公示価格は1月1日現在の価格ですので、その後の地価動向も考慮する必要があります。

地価公示に関するお問い合わせ
総務課 企画調整係
☎85-6123



「あっち!？」

保育士 「せんせい昨日病院で検査してきて赤ちゃんが男の子か女の子かわかったんだよ」
 N 子 「えー!すごーい!」
 保育士 「どっちだと思う?」
 K 男 「あっち!!」(自信満々にこたえるK男)
 N 子 「Kくん なにそれ~」
 保育士 「正解は男の子でしたー」
 K 男 「やっぱりなー!!」

建設水道課からのお知らせ

水道メーターの検針について

冬期間休止していた水道メーター検針業務を5月1日から再開いたします
 メーター検針を円滑に行うため、次のことにご協力ください。
 ○メーターボックスの上や周りに物を置かないでください。
 ○メーターボックス周辺に犬を繋がらないでください。

上下水道料金の冬期精算について

1月請求分から4月請求分は、12月の検針水量により算出した金額(推定料金)で納めていただいておりますので、5月の検針値(5月請求分)で精算させていただきます。※状況により6月以降分で精算させていただきます場合があります。
 なお、精算の結果、過納金が生じた場合(料金を多く頂いていた場合)は、当月もしくは次月以降の料金に充当させていただきますので、予めご了承ください。

水道の開栓・閉栓業務について

平成20年度より、水道の開栓・閉栓業務を白鷹町水道工事組合に委託しています。
 なお、受付については従来どおり役場建設水道課水道係で行っています。
 ○受付時間 午前8時30分~午後5時まで(土日祝日、役場閉庁日を除く)
 ○手数料 開栓1000円
 閉栓1000円
 ○委託先 白鷹町水道工事組合
 ◆長谷川建設(株) ◆須貝設備工業(株)
 ◆(株)佐藤燃料店 ◆(株)西塚管工事店
【お願い】
 ※事情により、ご連絡頂いた日、当日中の対応ができない場合もありますので、開栓(閉栓)予定の2~3日前までにお申し込みください。
 ※開栓(閉栓)の際は、現場立会いにご協力ください。
 ■問い合わせ 建設水道課水道係(85-6137)

はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八一二	次回 「笛」四月二十五日まで。 「絵」五月二十五日まで。	軸 「嘘のない大地だ白い蕎麦の花」	天位 「まだ嘘は知らない瞳澄んでいる」	地位 「何処までが本当か嘘か出世論」	人位 「方便の嘘で咲かせる花もある」	「墓場まで持つてく嘘が一つある」	「わかっているお世辞も嘘も紙一重」	「退社ベルルーージュの下に嘘かくし」	「円満も少しの嘘を混ぜ合わせ」	五客 「嘘ひとつ付けば代償無限大」	「この世には方便という嘘がある」	「嘘多い認知介護の目が優し」	「嘘と知り孫の話にのってみる」	「閻魔様私は嘘をつきました」	「大物になつたかうまい嘘をつく」	「良い話表は嘘で裏本音」	「子を諭す親の意見に嘘はない」	「嘘ならば貫き通せあの世まで」	「嘘つかぬうちの夫は地藏様」	「嘘ばなし笑って過ごすいい家族」	「万病に効能薬のコマーシャル」	「ばあちゃんの昔話に嘘はない」	「嘘話し目が出尾が出て飛びまわる」	「美しい言葉のかけに嘘がある」	「泣き止まぬ子供をだます嘘がある」	「これ重宝顔の見えない嘘電話」	「嘘言わず家庭円満三世代」	「嘘を消す消しゴム探す夢の中」	「お仲間飲めない嘘が大虎に」	「元気づける話上手の嘘もある」	佳作 元気づける話上手の嘘もある
高橋 白兔 宛	高橋 白兔 宛	山口 渡部喜美子	浅立 高橋 とみ	大瀬 五十公野春巳	鮎貝 植木 英夫	世田谷 保高 悦子	具生 保科 努	荒砥甲 井澤美佐子	浅立 梅津美千子	滝野 海老名さち	荒砥甲 横山 陽子	高玉 高橋 朝子	山口 虎句田	世田谷 遠藤 八重	十王 守谷 三郎	鮎貝 横沢 直太	横田尻 金田 れん	浅立 梅津よし子	十王 川部 隆雄	荒砥乙 土谷 灯一	佐野原 五十嵐あきよ	高玉 片山 時美	十王 鈴木 しげ	荒砥乙 大滝 栄子	西高玉 金田 コト	畔藤 梅津 いと	山口 石川与次衛門	佐野原 五十嵐とし	高岡 長岡みち子	世田谷 糸 マサ	十王 平 恒人

町報川柳 「嘘」 高橋白兔 選



アートキッズ

団員募集

- ▶いつ 通年(月2回)。今年度は5月から活動。
- ▶参加料 月1,500円
- ▶募集期間 4月30日まで。
ただし、定員(約10名)に達しだい締切。
- ▶申込 あゆーむまでお申込みください。

アートキッズ団は、アート(美術・芸術)を通じて遊びや楽しさを体験すると共に、協調性や創造性などを育むことを目的とした組織で、スポーツ少年団のアート版を目指しています。詳細はお問い合わせください。一緒にアートを楽しみましょう!



▲マイクロバスあゆーむ号

●マイクロバスあゆーむ号
団体・グループでお申し込まなければ送迎をいたしません。ご利用料は無料です。詳細はあゆーむまでお問い合わせください。

しらたか
in
あゆーむ
展

- ▼いつ 4月17日(火)
5月6日(日)
 - ▼観覧料 無料
 - ▼主催 白鷹の桜を愛する会
 - ▼共催 白鷹町文化交流センター
- ※詳細は下記をご覧ください。

あゆーむ
白鷹町文化交流センターAYu:M
TEL. 85-9071 FAX. 85-9072
E-mail. shirataka@ayu-m.jp
URL. http://www.ayu-m.jp/
開館時間
午前9時～午後7時※夜間のご予約がある場合は午後10時まで(ギャラリーを除く)。
5月までの休館日
4/16(月)・23(月)
5/7(月)・14(月)・21(月)・28(月)



▲木製ベンチ

「山形まち家具」プロジェクトの木製ベンチを推進する「山形まち家具」プロジェクトの木製ベンチを設置しています。ケンオクヤマデザインと山形県森林組合連合会が製作。(ケンオクヤマデザインは、フェラーリなどのデザインを手掛けた、県出身のデザイナー、奥山清行さんが主宰)

「山形まち家具」プロジェクトの木製ベンチ

しらたか古典桜inあゆーむ展

- ▼いつ 4月17日(火)
5月6日(日)
 - ※午前9時～午後7時
 - ※4月23日(月)は休館日
 - ▼どこで あゆーむ
 - ▼内容
○桜に関する写真や絵画・工芸品の展示
○白鷹紬、紅花染ニット、ウエディングドレス、ブランドまゆ作品展示
○昔使われていた農耕具や生活用具の展示
○町内古典桜を守る人びと、支える人びとをパネルなどで紹介
- ※詳しくはお問い合わせください。

▼イベントスケジュール

期日	時間	内容
4/17(火)	午前10時～	オープニングセレモニー
		・山形大黒舞(白鷹民踊愛好会)
		・愛の武将隊(最上義光と伊達政宗)
4/26(木)	午後1時～	復興祈願チャリティーお茶席
4/29(日)	午前10時～	もちつき(桜もち)、白鷹太鼓鷹翔会
	午後1時～	復興祈願チャリティーお茶席
5/1(火)	午前10時～	古典桜の里キャラバン出発(愛の武将隊)



問い合わせ あゆーむ ☎ 85-9071

平成24年度白鷹学講座パート①



田勢康弘 講演会

愛しき日本
—危機を乗り越えるために

- ▼いつ 4月21日(土)
午後7時(午後6時30分開場)
- ▼どこで パワーセンター白鷹(白鷹町産業センター)
- ▼定員 200人
- ▼入場料 無料(整理券が必要です)
- ▼整理券取り扱い
教育委員会、中央公民館、各地区公民館
パワーセンター白鷹

「白鷹学講座」企画委員を募集します

町民の皆さんの生涯各期にわたる学習機会づくりを目指し、さまざまなジャンルの講演会などの学習会を実施している「白鷹学講座」。

講座については、町民有志のかたがたで構成する「企画委員会」でテーマを見つけ、講座の企画から開催・運営までを行っています。

「是非勉強してみたいテーマがある」「まちづくりに興味がある」「仲間と何かを始めてみたい」「著名な講師と親しくなりたい」というかたがた…。

年齢、男女は問いません。

是非、白鷹学講座企画委員に参画してみませんか!!

■白鷹学講座の申込・問い合わせ 教育委員会生涯学習係 (☎85-6146)、中央公民館 (☎85-6143)

置賜さくら回廊写真コンテスト作品募集

置賜さくら回廊の古木・巨木を撮影した写真を募集します。

- ▼撮影テーマ 「桜」「夜桜」「人と桜」のいずれか
- ▼被写体対象 置賜さくら回廊14カ所の桜
- ▼応募締切 5月31日(木)
- ▼当日消印有効
- ▼応募作品 4月10日～5月10日の期間に撮影したものを。デジタル可。ただし、画像加工の作品は不可。お一人3点まで
- ▼サイズ 四つ切またはワイド四つ切のカラープリント
- ▼表彰式 7月14日(土)

第4回夢の桜街道写真コンテスト作品募集

山形の桜の名所や地域に根ざした桜を中心に、周辺の自然の美しさや人びとの姿を撮影した作品を募集します。

- ▼テーマ 最上川夢の桜街道(やまがた桜の札所三十三カ所巡り)
- ▼応募締切 6月29日(金)
- ▼応募作品 平成24年に撮影した未発表作品。デジタル可。画像加工の作品は不可。お一人3点まで。

「第18回白鷹紅花まつり」



※その他、詳しくはお問い合わせください。

▼応募先 管内観光協会に直接お持ちいただくか、郵送ください。

山形鉄道株式会社社内 置賜さくら回廊フォトコンテスト係
〒993-0084
長井市栄町1-10

■問い合わせ

置賜さくら回廊観光推進会議事務局/白鷹町観光協会
(☎86-0086)

人3点まで。

▼サイズ 四つ切(ワイドサイズは除きます)

▼表彰式 9月上旬

※その他、詳しくはお問い合わせください。

■応募・問い合わせ 美しい山形・最上川フォーラム事務局
〒990-0041山形市緑町1-9-30緑町会館

(☎023-666-3737)

白鷹山情報 5場所連続の勝ち越



大相撲三月場所
(3月11日～25日)

白鷹山星取表

取組	星取	決まり手
初日	○	つり出し
4日目	○	寄り倒し
6日目	●	寄り切り
7日目	○	寄り切り
10日目	●	押し出し
12日目	●	寄り切り
14日目	○	押し出し

三段目東70枚目 4勝3敗

今場所を振り返って (白鷹山のコメント)

こんにちは、白鷹山です。2年ぶりに開催された大阪場所は僕にとっては初めての大阪でした。場所直前にノロウイルスにかかり不安でしたが、前半は3勝1敗と好調で、これはいけると感じました。

しかし、3段目ともなる経験豊富な力士が多く、簡単には勝ち越させてくれませんでした。相撲は立合いが勝負ですが、立合いの呼吸をどう合わせるかが課題となってきたそうです。来場所も応援よろしくお願いします。

白鷹人形研究会展示会 (移転のお知らせ)

白鷹人形研究会が伝統工芸の村(深山地区) 近くに移転いたしました。

展示会を開催しますので、ぜひご覧ください。

当日は、振袖姿の「およばれ」など、新作のほかすべての作品を展示します。

▼いつ 4月15・22・29日(日) 午前10時〜午後4時

▼どこで 白鷹人形研究会工房(左図参照)

※当日は「むすびびな」制作体験ができます。

○体験料 1人1000円

○所要時間 1時間前後

▼見学・体験について

今後は、毎週水曜日(午後1時30分〜4時30分まで)を定期作業日にしますが、作品や見学・体験については事前にお電話でご連絡ください。

なお、体験は5人以上からお受けいたします。

所要時間(1時間)や体験料(2000円)は制作する人形により異なりますので、お問い合わせください。

■問い合わせ 白鷹人形研究会代表 吉田博子(☎080-1281416968)

○所要時間 1時間前後



2年ぶりに県縦断駅伝競走大会開催

4月27日〜29日の3日間、第57回県縦断駅伝競走大会が開催されます。

白鷹中継所通過予定時刻は4月28日(土)午後1時34分ころの予定です。長井西置賜チームの熱い走りに大きな声援をお願いします。

なお、役場周辺の駐車場は限りがございます。付近の迷惑になる駐車はおやめください。

※一昨年から中継所が変わっていますのでご注意ください。

■問い合わせ 教育委員会生涯スポーツ係 (☎85-6147)



平成24年度 フラワーロードパーク里親(ボランティア)を募集します

町では、美しく住みやすいまちづくりを進めるため、町民のかたがたや企業の皆さんと一緒に、フラワーロードパーク(国道287号線沿い)の里親活動を実施してきました。

今年度も、ボランティアを行っていただけの個人、団体、企業及び従業員団体などを募集します。児童・生徒が活動の主体になる場合は、責任者が必要となります。

●主な仕事 フラワーロードパーク区域内の除草、樹木の管理、ごみ拾いなど

●活動回数 年間3回以上を願います。

●申込方法 参加申込書(建設水道課にあります)に必要事項を書いてお申し込みください。

●募集締切 4月23日(月)

●申込・問い合わせ 建設水道課管理係 (☎85-6140)

平成23年度は左記の8団体184人の皆さんに、除草、樹木管理、ごみ拾いなどを行っていただきました。整備していただいたことにより、地域住民はもちろん、白鷹町を訪れる人びとの目を楽しませ、すがすがしい気持ちにさせてくれました。

- 協力していただいた団体
 - ・町下花街道奉仕会
 - ・路傍花の会
 - ・衣袋建設株(株)ほか五風会
 - ・(株)高橋組
 - ・(株)菅原組
 - ・東陽ロード小山沢
 - ・(株)アールスティ山形労働組合
 - ・町職員クラブ
- (敬称略)

白鷹町認知症高齢者
見守りネットワーク

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター TEL.86-0112

認知症って何だろう？

白鷹町の高齢化率は約30%、3人に1人が65歳以上の町です。そして、認知症のかたの人数は約480人で、65歳以上の町民の10人に1人は認知症ということになります。

認知症は、誰でもなる可能性があります。その原因には、脳の細胞が徐々に少なくなっていくたり、脳梗塞や脳出血で脳の一部が機能しなくなるなどがあります。

脳は、私たちが生きていくのに必要な機能のほとんどに関わっています。脳の細胞が働かなくなることによって、感覚



- （見る・聞く）や思考（理解・判断）や記憶（覚える・思い出す）などが以前とは違ってくるのが認知症の症状です。認知症になると、次のような症状が出る場合があります。
- 覚えられない、すぐ忘れてしまう
- 日付や場所、時間がわからなくなる
- 見聞きしたことが理解できなくなる
- 二つ以上のことを一度に考えられなくなる

年をとると物忘れが増えてくるのはよくあることです。しかし、認知症による物忘れは体験の全てを忘れていたり、物忘れをしている自覚がなかったりして、日常生活に困ったことが起きてきます。

大切な家族が物忘れがひどくなっても、認知症になつたと受け入れることはなかなか難しいものです。1人だけ、家族だけで抱え込まず、周囲の人に介護していることを話したり、見守りに協力してもらったりすることが大切です。

認知症の人と家族の会定例会
▼いつ 4月25日（水）
午後1時30分
▼どこで 健康福祉センター
認知症の介護ならではの悩み、助かったことなどを聞いて話してみませんか？
ご希望のかたは事前にお申し込みください。
■問い合わせ 地域包括支援センター
(☎86-0112)

電源立地地域対策交付金 事業を実施しました

発電用施設の周辺地域における公共用施設の整備等を促進し、地域住民の福祉向上を図り、発電用施設の設置及び運転の円滑化に資することを目的とした、経済産業省資源エネルギー庁所管の発電立地地域対策交付金（440万円）が、こぐわ保育園運営費（平成23年度運営費の一部として）に充当されました。こぐわ保育園の運営のため、有効に活用されています。



■問い合わせ 総務課企画調整係 (☎85-6123)

3月の町長交際費

平成24年3月に支出された町長交際費についてお知らせします。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎85-6120

支出日	区分	支出額(円)	内容
3月7日	御祝	3,000	白鷹地区生産組合代表者会議
3月9日	御祝	3,000	大黒舞交流会
3月15日	香典	10,000	
3月29日	御祝	3,250	マイスカイ中山竣工式
	計	19,250	



第26回ヤナ開きまつり

今年も最上川に約200匹のこいのぼりが泳ぎ始めました。

ぜひヤナ開きまつりにお越しください。

▼いつ 4月29日(日・祝) 5月6日(日)

午前10時～午後5時

▼どこで 道の駅白鷹ヤナ公園

▼内容

・イベントは5月3日～5日までの3日間です。

○ジャンケン大会 午前11時

会 (☎86-0086)

●暴力団を協力しない。

●暴力団を恐れぬ。

●補助金対象者

○山菜汁無料提供 昼12時(先着200人)
○魚のつかみどり 午後3時
※いらなくなった鯉のぼりだけませんか?
各家庭で役目を終えた鯉のぼりを最上川で泳がせます。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

■問い合わせ
あゆ茶屋 (☎85-5577)

東北の元氣復興祭

桜の時期に合わせて、白鷹・長井・南陽で地域伝統芸能を披露する「東北の元氣復興祭」が開催されます。

この機会に各地区の伝統芸能を楽しんでみませんか。

○白鷹町

高玉芝居上演

▼いつ 4月22日(日)

午後1時～3時

▼どこで 釜ノ越サクラ

(雨天時は西高玉桜美館)

▼演目 「上州みやげ仇討桜」

畔藤田植踊り

▼いつ 4月22日(日)

午前11時～11時30分

▼どこで 釜ノ越サクラ

■問い合わせ 白鷹町観光協会 (☎86-0086)



「白鷹町暴力団排除条例」を制定

町民のみなさんが安全で穏やかな生活が過ごせるよう、社会及び地域全体で暴力団排除を推進するための条例が制定されました。昨年制定された県条例とともに、県内の市町村が一体となって取り組みます。

●【条例の基本理念】
●暴力団を利用しない。

○長井市 伊佐沢念佛踊り
▼いつ 4月28日(土)
午後7時30分

▼どこで 伊佐沢小学校校庭
(雨天時は体育館)

■問い合わせ 伊佐沢地区公民館 (☎88-2444)

○南陽市 暴れ獅子太鼓
▼いつ 4月29日(日)
午後1時

▼どこで 烏帽子山公園
(雨天中止)

■南陽市観光協会 (☎0238-40-2002)

●暴力団に協力しない。
●暴力団を恐れぬ。
■問い合わせ 町民課暮らし環境係 (☎85-6131)

白鷹町芸術文化協会

東日本大震災気仙沼市復興支援「高玉芝居公演」

被災された多くの皆さんに笑顔と希望の光を取り戻していただきたいと願って公演します。お知り合いのかたへのお声がけをお願いします。

▼いつ 5月3日(木)

午後1時開演(昼12時開場)

▼どこで 気仙沼市はまなすの館はまなすホール

▼入場料 無料

▼演目

「花吹雪、情けの夜桜」全三幕

■問い合わせ 事務局/教育委員会内 (☎85-6146)

「すまいる!四季の郷」定住促進プロジェクト補助金制度

鮎貝土地区画整理地内の定住を図り、地域の活性化を促進するため、保留地を購入されたかたに補助金を交付します。

▼補助金対象者
自らの住宅建築のため、鮎貝土地区画整理地内の一般保留地を購入されたかた。

▼補助金の額
県外者：100万円
町外者：70万円
町内者：50万円

▼補助対象期限
平成25年3月31日まで

■申込・問い合わせ
建設水道課都市計画係 (☎85-6140)

パソコン教室のご案内

料金は無料で、持ち物も不要です。

▼内容/コース/時間

【よくわかるパソコン入門】

○第1回

4月23日(月)・25日(水)・27日(金)

午後2時～4時の計6時間

○第2回

5月7日(月)・9日(水)・11日(金)

午後7時～9時の計6時間

▼場所 町総合情報センター(パワーセンター白鷹内奥)

■申込・問い合わせ 町総合情報センター担当/船山・松下 (☎86-0001)

**ゆめスポしらかが『RO*KU』
ウォーキング教室**

▼いつ 4月22日(日)
午前10時～昼12時
▼どこで 中央公民館いこいの間と周辺コース
▼内容 目からウロコのウォーキング基礎講座のあと実際に歩きます。

▼講師 (社) 日本ウォーキング協会 後藤一也氏
▼参加費 RO*KU会員100円 非会員600円
(当日ご持参ください)

▼その他 4月19日まで申し込みください。5・6月にも内容を変えて実施する予定です。また、RO*KUへの入会などはお問い合わせください。

■申込・問い合わせ ゆめスポしらかがRO*KU事務局 / 教育委員会内 (☎85-16147)

消防設備士試験

▼試験日 5月26日(土)
▼会場 山形ビッグウイング
▼試験の種類 甲種(全類)、乙種(全類)

▼願書受付期間

【電子申請】 4月13日(金)～22日(日)
【書面申請】 4月16日(月)～25日(水)

■願書の提出先 財団法人消防試験研究センター山形県支部

※受験願書、試験案内及び受講申込書は、消防本部、消防署、各消防分署に備えてあります。

■問い合わせ 西置賜行政組合消防本部予防課(☎88-1797) 消防署白鷹分署(☎85-15242)



河川の里親を募集しています

地域共有の公共財産である河川を身近で良好なものにし、住民と行政のパートナーシップ形成を目的に募集します。
▼活動団体 河川の清掃や植栽などの環境美化活動などを行っていただけ町内会、地域団体、その他のボランティア団体など

▼対象区間 県管理河川・砂利 概ね200m以上

▼申込方法 置賜総合支庁(西庁舎)にお問い合わせのうえ、申込書を町建設水道課に提出ください。

▼応募締切 4月27日(金)
■問い合わせ 置賜総合支庁建設部西置賜河川砂防課(☎88-8232)

**新しい飼主を募集します
譲渡講習会のおしらせ**

置賜保健所では、一頭でも多くの動物が幸せに生きられるよう、引き取りなどした犬やねこを希望者へ譲渡しています。適切な飼い方のため、事前に講習会を受講いただきます。なお、犬やねこを飼う上で役立つ内容ですので、譲渡を希望しない場合でも、犬やねこを飼っているかた、これから飼いたいかたもぜひご参加ください。

【譲渡までの流れ】

- ①保健所の譲渡講習会を受講
- ②保健所から犬・ねこの譲渡情報を提供します
- ③希望する犬・ねここと対面(相性をみます)
- ④譲渡手続き完了

(家族の一員です)
【講習会のご案内】

▼いつ 毎月第3金曜日 午後3時30分(約1時間)
▼どこで 置賜保健所講堂
※事前に電話でお申し込みください。

【飼い主探しホームページ】山形県ホームページの「犬・ねこの新しい飼い主探し掲示板」からご確認いただけます(検索ワードは「置賜 犬」)。
■問い合わせ 置賜保健所生活衛生課(☎0238-2213750)

広告

多勢久美子 語り部ショー
平成24年5月20日(日) 午後5時30分
料金5000円
準備の都合により予約制となります。
●各種ご宴会ご予約に合せて承ります。
割烹館 どんわ 86-0017

広告

発作外来診療のご案内 看護師・准看護師募集



小児科 内科 精神科 神経内科
リハビリテーション科



医療法人 杏山会
吉川記念病院

- 発作外来(てんかん、偏頭痛等) 第1土曜日の午後(要予約)
- 吉川記念病院では、看護師さん、准看護師さんを募集しています。
- 准看護師の資格をお持ちの方で看護師を目指している方や看護学校及び准看護師学校へ入学希望の方、当病院の修学資金制度を利用してみませんか。

※お問い合わせ: 吉川記念病院事務長まで 電話87-8000

◎大型絵本展示と読み聞かせ会の開催 4月23日の「こども読書の日」にちなみ開催します。町立図書館には45冊の大型絵本があります。迫力たっぷりの大
型絵本をお楽しみに。▼展示 4月21日(土) 22日(日) 午前9時～午後7時 ▼読み聞かせ 4月21日午前10時～、午後3時～▼どこで 町立図書館

戸籍の窓

【3月 1日～ 3月31日届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
(青野寛之)	荒砥甲
(神谷真澄)	北海道
(佐藤智徳)	大江町
(竹田麗奈)	荒砥甲
(橋本大典)	畔藤
(沼澤純香)	長井市
(菅間一生)	畔藤
(渡部留美子)	長井市
(菅原克彦)	畔藤
(志子田千津子)	宮城県
(紺野忠彦)	畔藤
(布施知子)	畔藤
(橋本勇輝)	荒砥甲
(加藤真弓)	米沢市

お詫びと訂正

広報しらたか3月12日号「ご結婚おめでとう」に掲載された宮林妙さんの住所は「鮎貝」ではなく正しくは「寒河江市」です。お詫びして訂正いたします。

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
鮎貝	佐藤 達道 真 理	蒼 彩
高玉	金田 力直 美	たつ や 竜 也
横田尻	高橋 知之 真美	じゅん 惇

おくやみ

住所	氏名	年齢
中山	鈴木 幸雄	85
荒砥甲	渡部 幾郎	85
荒砥乙	秋葉 利幸	62
荒砥乙	小林 義一	92
鮎貝	竹田 宏一	85
高玉	金田 みつ	86
畔藤	衣袋 助司	86
滝野	竹田 勝司	84
高玉	金田 秀雄	90
荒砥甲	伊藤 徳彌	85
浅立	佐藤 茂子	90
横田尻	新野 武次	93
畔藤	藤 齋 ふみ	97
荒砥乙	佐藤 トシ	85

みんなで広げる 輪 通信

VOL.28



白たか子どもの本研究会 (代表 小出 稔 さん)

- ◆ 結成は？
○昭和46年5月です。
- ◆ メンバー構成は？
○町内の老若男女15人です。
- ◆ はじめたきっかけは？
○昭和42年、日本子どもの本研究会が発足されるなど、全国的に子どものうちから読書の必要性が訴えられ、当時の図書館担当者、司書が中心となって発足されました。
- ◆ どんな活動ですか？
○図書館での絵本の読み聞かせ、紙芝居、昔語りが主で、季節ごとに団子下げや七夕飾りなどを作ってみんなで楽しんでいきます。
- ◆ いつ活動しているの？
○毎月第1土曜日午前10時から読み聞かせを行っています。
- ◆ 楽しさは？
○子どもたちが、話の内容に



おはなしの会

興味を持って夢中になってくれるときは充実感があります。

◆ 最後に一言
○おはなしの会300回(4月)を記念し、年内にビッグな講師をお迎えして、本の楽しさを実演していただく予定です。ぜひご参加ください。また、一緒に活動して下さるかたを募集しています。

■ 連絡先 町立図書館
(☎85-2111 内線620)

▼先日、西中の卒業式にお邪魔しました。在校生・卒業生がお互いに歌を送り、最後は全員での合唱。中学生の思いのこもった歌に胸が熱くなりました。私もこの4月号をもって広報担当を卒業します。この間、ご指導いただいた多くの皆さまへの感謝の気持ちを忘れず新たな一歩を踏み出したいと思えます。3年間ありがとうございました。(おおたき ゆつすけ)

▼この度の異動で広報を担当させて頂いたことになりました。フットワーク軽く地域の取材を行い、よりわかりやすく、そして皆様に愛される紙面づくりを心がけます。よろしくお願ひします。(おおたき としひろ)



戸籍の窓にのせたくないかたは、届出のときに戸籍年係係にお申し出ください。

広報しらたかは再生紙を使用しています。